

新番組 「仕事人」(仮題)

番組の趣旨 日本中の「仕事人」に会いに行く。

- 仕事は、ありとあらゆるジャンルをカバーする。
- 仕事人は、いわゆる有名人は極力排除する。
- 仕事人は、自分のクルマを持っている。

番組は、「仕事人 I」と、「仕事人 II」の二部構成とする。

それぞれ30分番組として、二曜日の同時刻、あるいは1時間枠で

IとIIを連続して放送する。

IとIIは同スポンサーの提供とすることが望ましい。

仕事人 I

- 会いに行く仕事人が所有しているクルマと全く同じクルマを用意して、それに乗って、そのクルマにいつも乗っている人に思いを馳せながら、「仕事人に会う旅」に出発する。
- そのドライブが「仕事人 I」の主な内容になります。
 1. 旅の途中の、名所、グルメ紹介。
 2. 数名のレギュラー自動車評論家（愛好家）による、そのクルマの美点チェック。

3 仕事人に会ってのインタビューの、さわり部分、或いはダイジェスト。

仕事人Ⅱ

- 仕事人へのインタビュー。
- 仕事人の仕事ぶり、紹介。

以上のように、

「Ⅰ」はクルマ番組、「Ⅱ」はインタビュー番組となります。

「Ⅰ」は、今までのクルマ番組とは全く違います。

まず、原則として、新車紹介ではありません。既に街を走っている「普通のクルマ」紹介になります。

企画者は、この国を背負って働いているのは、日本中を走り回っている長距離トラック、宅配便やコンビニの最先端を担っている普通トラック、多くの工場労働者が通勤に使っている軽自動車であると考えます。

従って、番組には、こうした大型トラック、普通トラック、軽自動車が頻繁に登場するはずです。

「Ⅱ」は、原則として有名人は登場しません。

その点で、いわゆるインタビュー番組とは一線を画するものになると思います。

尚、仕事人は、いわゆるリレー方式で紹介されていく方法が良いと思います。

以上、「仕事をする人」、「その人が乗るクルマ」を紹介する番組
ですが、「普通の存在」の「真の個性」を探求する番組にしたい
と考えます。

付記

1. この番組の放送は、**新聞をバックとする****が適切
と思われます。
2. I に登場する自動車評論家は、****氏を考えています。
それ以外に男女1名ずつの自動車愛好家をレギュラーとします。
3. 番組進行は K 氏を予定しています。尚、K 氏ひとりでは寂しい
という場合は、新進の女性自動車評論家（美人）を加えるのも
良いでしょう。
4. 視聴対象は「団塊の世代」とします。ドライブシーンの選曲は
この点に留意したいと思います。

5. 使用するクルマは、オリックス・レンタカー、或いはガリバー等とのタイアップが可能と考えます。

● 最後に、

この番組で最も重要なのは「仕事人への綿密な事前調査」です。

企画 H.K